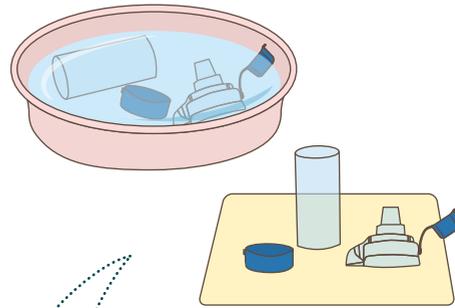


## スプレーの取り扱い

スプレーの内部に静電気が起こると薬が付着してしまい、必要な量を吸入できなくなるおそれがあります。使用前にこすらないなど取り扱いに注意しましょう。



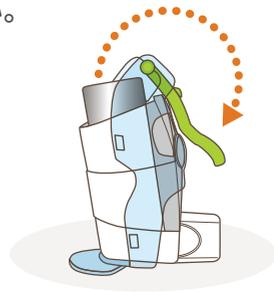
タオルなどでこすらないでください。



1週間に1回程度洗浄しましょう。  
ぬるま湯に少量の食器用中性洗剤を入れ、数分浸けておき、その後、流水で流します。タオルなどに乗せて、自然乾燥させます。

## フルティフォームの保管方法

- スプレーから吸入器を外し、キャップを付けて保管します。
- フルプッシュのレバーは前面まで回転させておきます。
- 内側のアルミ缶を、吸入器本体から外さないでください。
- 吸入器は絶対に濡らさないでください(噴霧口が詰まる原因となります)。
- 30°Cを超える場所に保管しないでください。



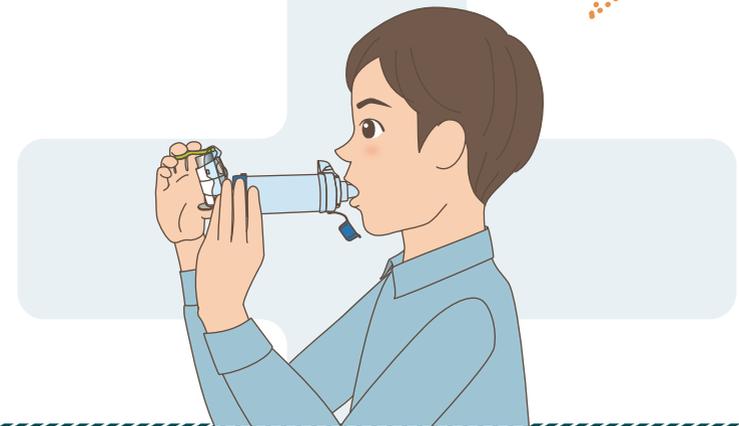
キョーリン製薬

改訂年月: 2022.1  
ICFF 0030

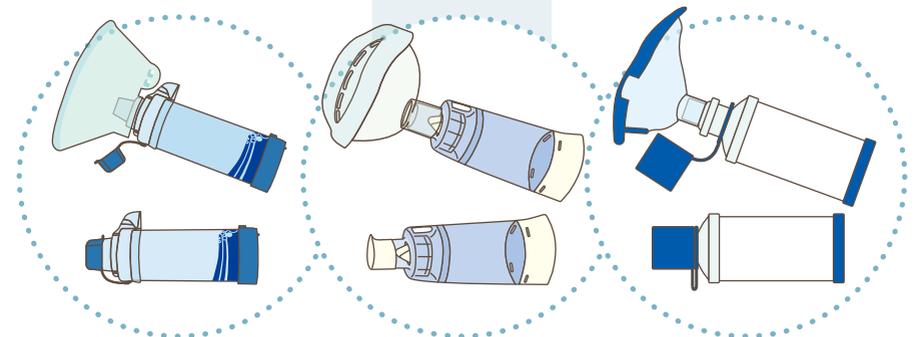
## フルティフォーム®を使用されている方へ スプレーを使用して吸入する場合



フルティフォームは市販の「スプレー」という補助具を使用できます。吸入器から噴霧された薬をスプレーにいったん溜めることで、噴霧と呼吸を合わせる必要がなくなり吸入しやすくなります。



スプレーには、口でくわえるタイプとマスク付きタイプがあります



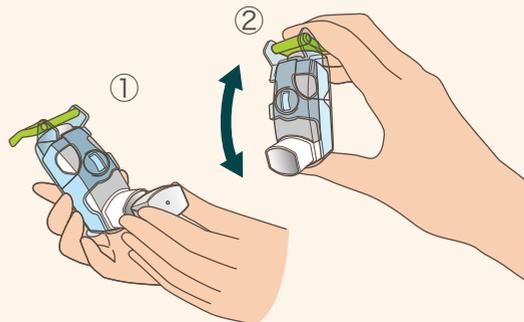
# スプレーサーを使用した吸入方法



口でくわえるタイプの他に、マスク付きスプレーサーもあります。マスクの場合は、マスクをしっかり顔につけて、4、5、6と同様に吸ってください。

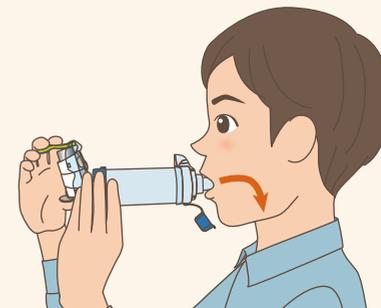


**1** 吸入器のキャップの左右を持って外します。吸入器の底に親指をあて、レバーの端を人差し指と中指で支え、よく振ってください。



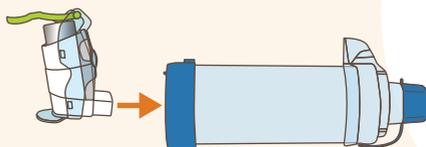
**4** アルミ缶を1回押してスプレーサーの中に薬を噴霧し、ゆっくり大きく吸入します。

**Check Point** 薬を吸入するときは、姿勢をよくして、スプレーサーを水平にします。姿勢をよくすると自然に水平になります。噴霧後は速やかに吸入してください。



**2** フルティフォームの吸入口をスプレーサーのマウスピースまたはマスクの反対側の接続部に取り付けます。

**Check Point** 吸入器、スプレーサー、マウスピースの向きを合わせてセットします。



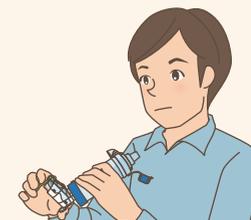
吸入回数 は医師の指示に従ってください。



**5** マウスピースから口を離してできるだけ3秒以上息を止め、その後ゆっくり息を吐き出します。(1回で吸入しきれない場合には再度吸入します)

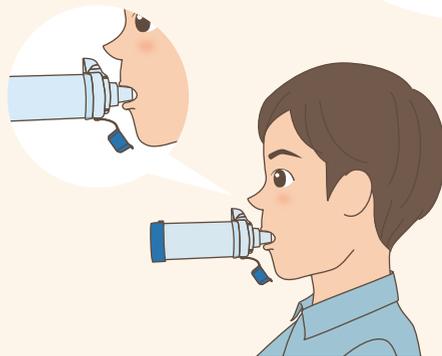
**Check Point** 3秒以上息止めをすることにより薬を肺の中に留めておくことができます。

2回以上の吸入をする場合は、スプレーサーにまとめて噴霧せず、1回毎に3~5の手順を繰り返します。



**3** マウスピースを唇で隙間ができないようにくわえます。

**Check Point** 口の左右に隙間ができないように唇で包み込むようにくわえましょう。スプレーサーに吐いた息は、通気口から外に排出されますので、くわえたまま呼吸すれば薬を吸入できます。



**6** 吸入後には、必ずうがいをしてください。ガラガラ・ブクブクを2回以上繰り返しましょう。

**Check Point** 高齢者などで、うがいができない場合は、水を飲むだけでも構いません。また、食事の前に吸入するなど工夫をしてください。

